

1. 定常運転の進展

1)定常トカマク研究の進展	関子 秀樹 (九州大学)	1
2)LATE における定常運転の進展 -ECH 球状トカマクの長時間形成 -	田中 仁 (京都大学)	11
3)LHD における定常実験の進展	中村 幸男 (核融合科学研究所)	19
4)JT-60U の定常運転の進展	竹永 秀信 (日本原子力研究所)	31
5)材料の観点から見た定常運転 - TRIAM-1M が教えてくれるもの -	吉田 直亮 (九州大学)	39
6)PWI の観点から見た定常運転	田辺 哲朗 (名古屋大学)	53

2. 共同研究に関する議論

1)共同研究 概要	関子 秀樹 (九州大学)	67
2)プラズマ境界力学研究実験装置について	関子 秀樹 (九州大学)	71
3)TRIAM の実験計画と共同研究計画	佐藤浩之助 (九州大学)	77
4)小型実験装置について	花田 和明 (九州大学)	85
5)共同研究の実施方法についての議論		
・磁気閉じ込め定常核融合装置のための 壁新概念開発の必要性に関するコメント	廣岡 慶彦 (核融合科学研究所)	95
・小型 ST への CT 入射の検討	永田 正義 (兵庫県立大学)	109

3. 共同研究の成果報告と計画

1)球状トカマクの定常化 - TST-2 への電子バーンシュタイン波入射実験 -	白岩 俊一 (東京大学)	111
2)Zeeman 効果を考慮したプラズマ回転計測	門 信一郎 (東京大学)	121
3)電流密度分布制御実験計画について (双方向共同研究)	彌政 敦洋 (九州大学)	125
4)TRIAM-1M 装置における 電子サイクロトロン加熱・電流駆動実験	出射 浩 (九州大学)	133
5)TRIAM の実験計画の実施について		143

4. 全体討論

・次期装置設計図へのコメント	白岩 俊一 (東京大学)	147
・ TRIAM-1M 周辺プラズマ中揺動の解析	大野 哲靖 (名古屋大学)	153